レセプトおよび DPC データを用いた
循環器疾患における医療の質に関する研究について

１．研究の対象

2012 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に、循環器疾患診療実態調査の対象施設に循環器疾患で入院されたすべての患者様です。

２．研究目的・方法

[研究の目的]

JROAD 調査施設の中から DPC(Diagnosis Procedure Combination;診断群分類)参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれた DPC データを集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。

[研究の方法]

この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用するデータベースは匿名化処理がされており、個人情報が提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。

研究結果は個人が特定できない形式で学会等に発表されます。収集する項目は、性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらの ICD-10 コード，手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料，在院日数，退院時転帰，費用情報です。さらに詳細な項目内容についてご質問があれば、下記までご連絡ください。

研究期間：予定研究期間:倫理委員会承認後～2030 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

（共通項目）

生年月日、性別、自宅郵便番号、発症年月日、入院年月日、入院経路（救急車による搬送、他院よりの紹介）、併存症（高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、心房細動、ＣＯＰＤ、ＣＫＤ，透析治療、関節リウマチの有無）、入院前NYHAスコア、画像診断（検査の有無）、リハビリテーションの有無、退院時NYHAスコア、退院年月日、退院先、退院時DPCコード、退院時ICDコード、脳卒中合併の有無、入院中の治療の有無（ＰＣＩ治療、ステント治療、ＣＡＢＧ、ＣＲＴ治療、ＩＣＤ治療、　　血栓溶解療法）、退院時処方（抗血小板薬治療、抗凝固薬治療、降圧薬治療、スタチン製剤、ＡＣＥ阻害剤およびARB、βブロッカー）

（救急関連項目）

搬送の地理情報、時刻情報（覚知、現着、病院到着時刻）、心停止、呼吸停止、意識レベルの低下、瞳孔散大、血圧低下（SBP90以下）、不整脈の出現（VT,Vf,Afなど）、SpO2の低下（SpO2　94以下）

４．外部への試料・情報の提供

循環器疾患診療実態調査事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、第３内科研究責任者が保管・管理します。
収集した元データは国立循環器病研究センターOIC 循環器病総合情報センターにて厳重な管理のもと保存されます。

５．研究組織

事務局
国立循環器病研究センター内にある循環器疾患診療実態調査事務局

協力研究機関名
全国 800 施設程度

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

琉球大学病院　第三内科
研究責任者：大屋祐輔（教授）
電話:098-895-1150

研究責任者：研究代表者：

琉球大学病院　第三内科
研究責任者：大屋祐輔（教授）
電話:098-895-1150